

2018年 4月26日リリース

プレスリリース

(一社) 日本ロボット工業会
調査・統計部会

ロボット統計受注・生産・出荷実績 2018(平成30)年1～3月期【会員ベース】について

統計調査について

「ロボット統計受注・生産・出荷実績 2018(平成30)年1～3月期【会員ベース】」は、当会の月別統計調査を基に作成したもので、当会の正会員及び賛助会員対象企業32社のうち、回答企業32社による実績である。

なお、サービスロボットは調査対象外としている。

業況について

2017年の会員ベースでの年間の集計結果は、国内需要が堅調であったことに加え、輸出はそれ以上の大幅な伸びを示した。受注額は34.1%増の7,594億円、生産額は対前年比28.0%増の6,999億円とどちらも過去最高となった。会員外も含めた年間受注額は9,375億円程度、生産額は8,700億円程度を見込んでいる(確定値は5月下旬を予定)。

2018年1～3月期及び年間の受注・生産・出荷の各状況は以下の通り。

1. 受注について

受注台数、受注額ともに前年同期比でプラス成長、四半期ベースで過去最高となった。

- ・受注台数(台) : 63,551 (前年同期比+29.2%) 【10四半期連続のプラス】
- ・受注額(億円) : 2,188 (同+24.2%) 【7四半期連続のプラス】

(資料3)

2. 生産について

生産台数、生産額ともに前年同期比でプラス成長となった。

- ・生産台数(台) : 55,807 (前年同期比+17.6%) 【19四半期連続のプラス】
- ・生産額(億円) : 1,838 (同+16.3%) 【7四半期連続のプラス】

(資料1, 3)

3. 出荷について

各項目ともに前年同期比でプラス成長となった。国内出荷台数、総出荷台数は四半期ベースで過去最高。

- ・総出荷台数(台) : 56,811 (前年同期比+21.0%) 【19四半期連続のプラス】
- ・総出荷額(億円) : 1,890 (同+17.7%) 【7四半期連続のプラス】
- ・国内出荷台数(台) : 12,945 (同+25.8%) 【4四半期連続のプラス】
- ・国内出荷額(億円) : 558 (同+15.2%) 【18四半期連続のプラス】
- ・輸出台数(台) : 43,866 (+19.6%) 【19四半期連続のプラス】
- ・輸出額(億円) : 1,332 (+18.8%) 【6四半期連続のプラス】

(資料1, 2, 3)

3.1 国内出荷内訳

自動車産業向け

- ・国内出荷台数（台）：4,977（前年同期比+34.6%）【3四半期連続のプラス】
- ・国内出荷額（億円）：202（同+26.8%）【4四半期連続のプラス】

電気機械産業向け

- ・国内出荷台数（台）：3,326（前年同期比+14.8%）【5四半期連続のプラス】
- ・国内出荷額（億円）：163（同+16.6%）【5四半期連続のプラス】

（資料2, 3）

3.2 輸出内訳

溶接用

- ・輸出台数（台）：9,655（前年同期比+7.7%）【5四半期連続のプラス】
- ・輸出額（億円）：242（同+5.3%）【5四半期連続のプラス】

電子部品実装用

- ・輸出台数（台）：2,881（前年同期比+21.9%）【7四半期連続のプラス】
- ・輸出額（億円）：471（同+28.8%）【6四半期連続のプラス】

（資料1, 3）